

平成25年10月20日（日）

八ヶ岳南麓里山再生・農業支援友の会
会員の皆様へ

「石巻訪問」

収穫の秋を今年も迎えております。会員の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。その忙しい中を縫って10月11日に宮城の石巻に行く機会がありました。夜行バスでの往復となる強行軍でしたが二つの目的は果たすことが出来ました。主な目的は自然栽培で大規模な稲作を営んでいる太田俊治さんを訪問し、除草に関する機械化について教を乞う事でした。太田さんは自然栽培の勉強会仲間です。今栽培している「亀の尾」、「ササシグレ」の種籾を一昨年分けて頂いた中です。そのお米を皆様に今年もお届けできます。除草剤、肥料を一切使用しない自然栽培での稲作では人力での除草が一番辛い仕事になります。小生も田んぼが6反歩となり人力では限界を迎えていました。今年も「ササシグレ」の田んぼは除草がやり切れずホタルイという水草が繁茂して減収気味です。その解決の為の訪問でした。田植機を改造して人手で引くチェーンを田植機で行うのです。また、栽培中の田んぼにも案内して頂き、その広さには驚きました。超大型機械での稲作は山梨では見る事の出来ない光景でした。栽培規模は違っても非常に参考になりました。もう一つの目的は異業種ネットワークフォーラム（通称INF）というNPOの主催する全国大会が石巻で11日に開催され参加するためでした。この全国大会を6年前、2008年に甲府で開催しその責任者でした。ちょうど日程が合い時間的にも参加が可能と思いついて出かけたのでした。沿岸部では震災の傷跡を見ることができました。この大会のテーマは「いざ出航 支援から協働へ」でした。被災地の中小企業が事業をどのように立て直し、新たな地域づくりをしていくか、農林水産業では魚のブランド化、6次産業化、体験観光等活発に有意義な議論が行われました。地元の産業人達が未曾有の災害から力強く立ち上がろうとしている姿に感銘しました。ともあれ今月は元の種籾は石巻生まれの新米「亀の尾」を堪能して下さい。

・ 田植機に付けるチェーン（10/11）



・ 一枚で一町歩の水田（10/11）



メール yamaki.yoshio@peach.plala.or.jp

携帯080-3080-3017